

さあ、森からはじまる未来へ。 大阪・関西万博“住友館”起工式を開催

住友グループは、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の会場となる夢洲のパビリオン建設予定地において、「住友館」起工式を2023年12月11日に執り行いました。

起工式挨拶にて、住友 EXPO2025 推進委員会 委員長の中村は「住友 EXPO2025 推進委員会は、住友グループ十九社にて大阪・関西万博に住友館の出展を決定し、2021年4月の発足から住友グループが力を合わせて取り組み、関係各社様の力添えで、ようやく着工を迎える事ができた。2025年4月開幕に向けて、やるべきことはまだまだ多岐に渡っているが、一つ一つ解決して開幕を迎えたい。大阪・関西は、住友グループ発展の礎を築いた地であり、この地で、万博が再び開催されるめぐり合わせを大切にしたい。そして、我々のこれまで培ってきた英知や技術、人材を集結し「住友館」を完成し、パビリオン出展を成功させ、多くの方に来場いただき、大阪・関西エリアのさらなる発展に貢献したい」と述べました。



（左から光吉 敏郎 住友林業社長、近藤 重敏 三井住友建設社長、中村 邦晴 委員長、内藤 純 総合プロデューサー）

【プレスリリース問い合わせ先】

住友 EXPO2025 推進委員会 事務局

担当：寺島・安永

連絡先：06-6220-6020

・メール：寺島/hideyuki.terajima@sumitomoexpo2025.com 安永/akifumi.yasunaga@sumitomoexpo2025.com

・公式HP：<https://sumitomoexpo.com/>

「さあ、森からはじまる未来へ。『住友館』」

住友館の建築は、住友の発展の礎である四国「別子の嶺」から着想を得て、山々が連続するシルエットを表現したデザインです。住友館は、400年に及ぶ歴史の中で住友が時を超えて継承し続けた「住友の森」の木々を建築に活用しています。木材の加工方法“合板”を用いることで、木々を余すことなく利用し「1本1本のいのちを大切にしたい」という想いを実現しました。さらに、桂剥き後に残った”芯”も、ベンチなどに姿を変えて住友館に設置します。



住友館 建築外観デザイン

木材資源の有効活用とリサイクルを実現し、エコロジーとエコノミーを両立させながら、木のぬくもりと安らぎのある「住友館」を建設します。多くの人々に関心を寄せていただき、未来への希望を思い描けるようなパビリオンの実現に向けて出展準備を進めていきます。

2025年大阪・関西万博の開幕まで残り500日を切りました。住友グループはこれまで培ってきた英知や技術、人材を集結させ、住友グループの総合力で社会課題に挑みます。人々の心を動かし、時代に変化を与え、未来への希望を創出できるような展示や、夢のあるエンターテインメントを通じて、みなが集い語れる場にしていきます。



【住友館 式典概要】

式典名	住友館建設工事 起工式
発注者	住友 EXPO2025 推進委員会
設計者 基本設計	株式会社電通ライブ 株式会社日建設計
設計者 実施設計	株式会社電通ライブ 三井住友建設株式会社 一級建築士事務所
監理者	株式会社電通ライブ
施工者 建設工事	三井住友建設・住友林業特別共同企業体
施工者 設備工事	住友電設株式会社
施工者 展示工事	株式会社電通ライブ 株式会社乃村工藝社
日時	2023年12月11日（月曜日）
神事	13：30～14：30
場所	大阪府大阪市此花区夢洲（大阪・関西万博 会場内）
斎主	産土神社 宮司
工事概要	工事場所／大阪府大阪市此花区夢洲 ・構造・規模／鉄骨造一部木造・地上2階建て ・延床面積／2,717.72㎡ ・用途／展示場・事務所
工期	（新築）2023年12月15日～2024年12月31日 （解体）2025年12月1日～2026年3月31日



住友館 建築外観デザイン



住友館 建築外観デザイン

*本プレスリリースは、NEC 開発の LLM(生成 AI : Large Language Model)にて骨子を作成しました。

紹介 URL : <https://jpn.nec.com/LLM/index.html>

【素材提供に関して】

◆素材提供 URL 本日発表の「住友館」に関する素材は下記 URL よりダウンロードできます。
<https://sumitomoexpo.com/materials>

※画像使用の際は、© Sumitomo EXPO2025 Promotion Committee の表記をお願いします。